Tokushima ROFUKUKYO

労福協NEWS

2011.4　No.53

『協同』が輝く時代へ

『わーくウェル感謝と交流の集い』開催される

去る３月５日、(社) 徳島県労働者福祉協議会、(財)徳島県勤労者福祉ネットワーク、(社) 徳島県労働福祉会館の三法人による合同設立記念式典『わーくウェル感謝と交流の集い』が徳島東急インで行われ、関係者185名の出席がありました。

式典ではこれまでの三法人の活動を支えて頂いたことに感謝の意を込めて、功労のあった方など37人、8団体に表彰状および感謝状をお贈りしました。

三法人はそれぞれ設立35年、15年、40年の節目を迎えるに当たり記念誌および記念DVDを製作しており、当日会場にて招待者にお渡ししました。

開　催　趣　旨

三法人の合同記念事業を実施し、県内における勤労者福祉の更なる前進を目指します。

(1) 三法人はこれまでの感謝の気持ちを忘れずに『働くもののしあわせ』実現へ向け、“これからの10年”をしっかりと歩んでゆく。

(2) そのため、これまで支えていただいた各団体･個人との連携を強め、今後もさまざまな分野で活躍する各団体、NPO･ボランティア等と協働し、『友愛･互助･協同』のネットワークを構築する。

(3)そして、勤労者生活応援の拠り所“わーくぴあ徳島”から生活安心情報を発信し、“新たな協働”としての地域社会をめざす。

3月11日に発生した東北関東大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。そして犠牲になられた方々とご遺族の皆さまに対し謹んでお悔やみを申し上げます。

被災地の一日も早い復興をお祈りしております。

(社) 徳島県労働者福祉協議会

〒770-0942　徳島市昭和町3丁目35-1　わーくぴあ徳島
TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113
E-mail tokushima@rofuku.net　URL http://tokushimarofuku.net

労福協

わーくウェル感謝と交流の集い

第一部はオープニングとして、労福協・ネットワークそれぞれの歩みを記録した記念DVDが上映されました。主催三法人を代表して徳島県労働者福祉協議会の久積育郎会長より挨拶がありました。

続けて、中央労福協の高橋均事務局長、徳島県の里見光一郎副知事、徳島市の佐藤吉則第二副市長より来賓の祝辞を賜りました。また仙谷由人衆議院議員からメッセージを頂き、杉本秘書が代読されました。

引き続き、これまでの三法人の活動を支えて頂いたことに感謝の意を込めて、功労のあった方など37人、８団体に表彰状および感謝状をお贈りしました。表彰状が手渡される際には、会場内から温かい拍手が送られました。

表彰者の方々と記念撮影

そして表彰者を代表して、中央労福協元事務局長の野澤雄三さん、川崎医療福祉大学学科長の小河孝則さん、そして就労支援日本語講座を修了された王紅霞さんに壇上に上がっていただき、受賞感想の言葉をいただきました。とくに野澤雄三さまからは、「2002年中央労福協の事務局長へ就任当事は労働組合役員の一丁あがりの仕事と思っていたが、それではいけないと感じ４７都道府県に呼びかけた。そして全国の労福協には徳島詣でをしてもらい、久積会長にある意味でプレッシャーをかけてきたことが徳島労福協の今日の活動につながった」と激励のお言葉をいただきました。第一部は鳴門市賀川豊彦記念館の田辺健二館長より賀川豊彦副読本編集委員会の報告を受けて幕を閉じました。

第二部は二胡の美しい演奏の中、優雅に始まりました。徳島県労働福祉会館の小松義明理事長より「三団体とも先輩方が礎を築かれたことにより今日の姿がある」との挨拶を受け、労働者福祉西部協議会の安田邦夫会長、中国内モンゴル自治区で教育に携わっている烏云先生よりそれぞれ祝辞を賜りました。

その後ＮＰＯ法人壮生の中村昌宏理事長より「松尾芭蕉に“不易流行”という言葉があり、そこから連想されるリーダー像として久積会長をイメージした…（中略）、乾杯！」と音頭を取って頂き、懇親に移りました。

旧知との語らいで賑わう中、“ボランティア友の会ひまわり”による合唱が行われ、交流に花が添えられました。

最後に徳島県労働者福祉協議会の川越敏良副会長の閉会の挨拶にて盛会のうちに終了しました。

日本弁護士連合会
貧困問題全国キャラバン徳島市民集会
～日本の貧困を根絶するために　私たちはなにをすべきか～

３月５日15時よりあわぎんホール４Ｆにて、徳島弁護士会、四国弁護士会連合会、日本弁護士連合会主催の「貧困問題全国キャラバン徳島市民集会」が行われ、約150人が参加した。

パネルディスカッションでは、基調講演を行った宇都宮弁護士、野宿者ネットワーク（大阪）の生田武志氏、徳島県労福協の久積育郎会長等有識者５名がパネリストとなり、それぞれの活動報告のほか貧困問題根絶への提案を行った。

久積育郎会長は、「医療・福祉・仕事まちかど相談」実施に至る経緯についてふれると共に、2012年の「国際協同組合年」へ向け、労働団体、労働福祉事業団体のみならず行政やNPO、市民団体との連携が必要であると強く訴えた。

連　合

「働くことを軸とする安心社会」へ

２月４日午後６時から労働福祉会館別館において「2011春季生活闘争開始宣言集会」を開催し、県春闘共闘会議に結集する加盟約200人が参加。統一賃金上げ要求を定期昇給維持分4,500円プラス給与総額の１％以上とすることなど、取り組み方針を決定した。

集会は、赤松副事務局長の司会、峰行連合副会長の開会あいさつに続き、主催者を代表して小松議長（連合徳島会長）は「2011春闘は『すべての働く者の労働条件・処遇改善』を掲げて２年目の取り組みとなります。すべての労働者のために賃金水準の復元・格差是正の観点から、産業・企業によってそれぞれ置かれた環境の下、１％を目安に適正な配分を追求する方針を決定します。日本経済は、長期低成長とデフレからの脱却ができず、失業と非正規労働者の増大、ワーキングプア、中小企業と農業の危機、社会保障抑制による老後不安・負担増など、経済的、社会的矛盾はますます顕著になっています。今、労働組合に求められているのは、格差を是正し、公正な配分を実現し、日本経済社会を健全な状態に『回復』『復元』することであり、『家計』、つまり勤労者の生活に、日本の経済成長の恩恵が確実に伝わるような経済社会を実現していくことです。非正規労働者が抱える雇用、労働条件の改善などの問題解決も道半ばです。いまほど、労働運動の真価がとわれている時はありません。『働く事を軸とする社会』の構築に向け、すべての労働組合が共に、闘争に参加し、要求し、そして労使で真剣に配分のあり方、均等・均衡処遇のあり方について話し合っていく、この春季生活闘争の精神をもう一度呼び起こし、労働運動の存在意義を強く認識し合い、共闘を軸に総合力を発揮して、社会的春季生活闘争にしていくことを切にお願い申し上げご挨拶といたします。」とあいさつを述べた。

続いて齋藤共闘会議事務局長（連合徳島事務局長）より「低下した賃金水準の復元と格差是正に取り組む・非正規労働者の正規化の促進を図り、労働条件の回復を求める」など「賃上げ要求を定期昇給維持分4,500円プラス給与総額の１％」と春闘方針を示した。

また、２月末遅くとも３月までに要求書を提出し、ヤマ場における回答引き出しや妥結をめざし、県春闘共闘会議の開催する諸行動の結集と春闘キャンペーンを推進していくこと、など2011春季生活闘争の方針と課題が提起され、全体の拍手で確認された。

その後、民間大手部会（吉田・電力労組）、民間中小部会（平井・中小対策本部）、官公労（藤岡議長）、地域部会（森本・中央地協議長）からの決意表明に続き、2011春季生活開始宣言（案）が提案され、全体の拍手で採択されました。山下連合徳島副会長の閉会あいさつ後、小松議長の音頭で団結がんばろう、三唱で開始宣言集会を閉じました。

ろうきん

四国ろうきんの社会貢献活動

基本方針

四国労働金庫は、経済・福祉・環境・文化などの社会的課題への取り組みを行うと共に、NPO、市民活動団体をはじめ地域福祉の事業に対する支援活動を進めています。
「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」と定めた「ろうきんの理念」の具体化を図ることを目的とした活動を続けます。

■ろうきんの基本理念

○ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。
○ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。
○ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。
○会員は、平等の立場で労金の運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
○ろうきんは、誠実・公平および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

四国ろうきん「助成金制度」

過去７年６ヶ月間に
236件 4,211万円の
助成をしています

社会福祉、高齢者問題、文化や国際交流などの「福祉活動」を対象とし、非営利で、公共性の高い活動をしている団体に対し、応募申請をもとに審査・選定し、助成金を贈呈する制度です。

■助成金額

１団体　20万円以内
過去に助成実績のある団体は10万円以内

詳細については
総合企画部　TEL.087-811-8004
E-メールアドレス：manage@shikoku-rokin.or.jp
または最寄りの営業店にお問い合せください。

■助成金対象団体の条件

助成対象団体は、NPO法人、社会福祉法人、その他住民の福祉の増進を図ることを目的とする法人及び任意団体です。
（1）組織の運営に関する定款又は会則のある団体
（2）１年以上の活動実績を有し、引続き活動できる団体
（3）10人以上の会員を有する団体
※労働組合や労働団体、自治会・町内会（コミュニティー）、PTA、校区の子供会、婦人会、老人会等については、助成対象外といたします。
その他詳細は、各営業店の助成金申請書の応募募集要綱に記載しています。
四国労働金庫ホームページ http://www.shikoku-rokin.or.jp の助成金制度または NPO ボランティア団体お役立ち情報をクリックして助成金ページを参照ください。

四国労働金庫

ホームページアドレス
http://www.shikoku-rokin.or.jp

金融機関コード　2987

全　労　済

ZENROSAI NEWS

こくみん共済を改定、『生きるための保障』が誕生！
～2011年４月１日より、新しい保障タイプを新設します～

全労済では、生命・医療から老後の保障、そして、住宅や自動車等の損害保障まで幅広い共済商品を取り扱っています。

この度、組合員の皆さまのニーズの多様化にお応えするため、全労済の主力商品である「こくみん共済」に新たな保障タイプを新設し、2011年4月1日から取り扱いを開始いたしました。

『安心して生きていく。自分も、家族も。』

「こくみん共済」は、皆さまの暮らしに無理なく安心いただける保障制度として、幅広い年齢層の方々にご利用いただいている全労済の代表的な共済商品です。

近年、医療技術の進歩により、難しいとされていた病気の治療が可能になったり、病気や事故により重い障がいが残った方が活躍できる社会を迎えています。

そこで、「こくみん共済」では、万一の際、皆さまの経済的負担を少しでも軽減できるよう、先進医療やがん、後遺障がいなどを手厚く保障する新しい保障タイプをご用意いたしました。

もしものとき、あなたが、そして支えてくれる大切なご家族が安心して生きていくために強い力となる保障。それが、「こくみん共済」の新しい『生きるための保障』です。

■改定内容　新しい保障タイプ・プランの新設

新保障タイプ・プラン	特　　徴
生きるちからになる保障 生きる安心タイプ	重度障がいや病気による障がいになられたときに必要な治療費と、その後の生活を応援します。 ＜重度障害支援共済金の新設＞ 重度障がい状態になられたときは、死亡したときよりも多くの経済的負担が必要となります。そこで生存保障として重度障がいを支援する保障を手厚くしました。 ＜疾病障害共済金の新設＞ これまで重度障がいとなった場合に限定されていた病気による障がい保障について、その他の障がい（心臓ペースメーカーの装着など全労済所定の障がい状態）となったときの保障を充実しました。
入院から手術、先進医療まで備える保障 医療安心タイプ	先進医療にしっかり対応し、手術の際も幅広く保障します。 ＜手術共済金の新設＞ 病気やけがによる手術（全労済所定の手術）は、日帰り手術も保障の対象とします。 ＜先進医療共済金の新設＞ 健康保険の適用とならない先進医療の技術料への経済的負担に備えるための保障を新設しました。
プラスして安心、がんに備える特約 がん保障プラス	基本タイプ・終身医療5000に組み合わせてご加入いただける「がん保障」に特化した保障制度です。単独でのご加入はできません。
お子さまの教育資金と病気やけがの保障 キッズ満期金付プラン	キッズタイプ・キッズワイドタイプにセットできる専用の生命保障付満期金プランです。お子さまの成長にあわせて教育資金として活用できます。

※新しい保障タイプ・プランの詳細につきましては、資料請求のうえ、ご確認ください。

■新しい「こくみん共済」についてのお問い合わせ・資料請求は、
全労済徳島県本部　電話：088-625-2340（平日 9:00～17:00／土・日・祝日休み）まで。
■全労済ホームページ：http://www.zenrosai.coop/

勤労者福祉ネットワーク

働くひとの総合福祉サービスをサポートします

ファミリー・サポート・センター事業

● 「援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」がお互いに助け合う会員組織です。

お問い合わせ・お申込み先

☆徳島ファミリー・サポート・センター【徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山町】 ☎ 088-611-1551

☆板野東部 ファミリー・サポート・センター【藍住町・北島町・松茂町・板野町】 ☎ 088-693-3033

☆阿南ファミリー・サポート・センター【阿南市】 ☎ 0884-24-5550

☆鳴門ファミリー・サポート・センター【鳴門市】 ☎ 088-683-0788

☆美馬ファミリー・サポート・センター【美馬市・つるぎ町】 ☎ 0883-53-2528

☆吉野川市 ファミリー・サポート・センター【吉野川市】 ☎ 0883-25-6616

☆阿波市ファミリー・サポート・センター【阿波市】 ☎ 0883-36-6813

徳島生活あんしん倶楽部事業　TEL 088-655-9009

★生活密着型の掲載店舗が８８８店＋あんしん情報付き

700 円で “5 万円以上 ” もお得に！

例えば、こんな１週間

月	Yｼｬﾂｸﾘｰﾆﾝｸﾞ 10%off	80 円
火	昼食にうどん 50 円 off	50 円
水	ﾄﾞｰﾅﾂ 2 人分 10%off	50 円
木	ﾏﾏ友とﾗﾝﾁ100 円 off	100 円
金	文具 1 0%off	20 円
土	高速ﾊﾞｽ料金大人 *2 名	500 円
日	肉購入 3000 円 5%off	150 円
	ｵｰﾄｷｬﾝﾌﾟ施設利用料	100 円

１週間のお得合計　1100 円

あわーず徳島

徳島市勤労者福祉サービスセンター事業

とくとく券 新規 2011 年春夏号　新規サービス店の追加

いちご狩り・ぶどう狩り・高速バス・食事・温泉・プール・コンタクトレンズ・ボウリング・ゴルフ・遊園地・水族園などの利用助成に加えて

新規サービス提携事業所を追加 ⇨

■ 川原コンタクト（上板町）
■ センチュリープラザホテル「フィットネスクラブ」
■ 鳴門カントリークラブ

TEL 088-611-3322

中小企業サポート事業

ご存じですか？「中退共」の退職金制度なら、掛金に国の助成が受けられます。

国の制度だから安心・確実！

●新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。

●掛金は全額非課税で、手数料もかかりません。

外部積立型だから管理が簡単！

●従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。

◎パートさんもご加入いただけます

◎適格退職年金制度からの移行先です。

詳しくはホームページをご覧ください　中退共　検索

お気軽にお問合せください

（独）勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
☎（〇三）三四三六―〇一五一（代）
FAX（〇三）三四三六―〇四〇〇

わーくぴあ徳島

福祉セミナーinとくしま

主催　徳島労福協

「福祉セミナーinとくしま９」―成年後見と介護保険の10年とこれから―と題し、去る2月19日（土）13：30～ヒューマンわーくぴあ徳島５階ホールにて開催されました。社会福祉士会会員、ヘルパー養成講座の修了生、労福協なのはなヘルパーをはじめ、会員団体など130名参加がありました。第1部は報告として、「福祉なんでも相談ダイアルの一年」がなされ、次いで、社会福祉士会の坂尾昇二さんより「介護保険の10年を検証する」と題した徳島の現状の報告とNHKスペシャル『無縁社会』の検証がされました。

第2部は、1,2,3,4,6回目のセミナーの講演いただき、お馴染みの「いけだ後見支援センター」代表の池田恵利子さんに“無縁社会”の中で高齢期を生きる―権利擁護の視点から―お話をいただきました。支える人の縁(援)の無い時代、いかに年を重ねるか？また、いかに支援をしていくか？『ぶれず』『あせらず』『あきらめず』常に頭に置きながら支援していければと思いました。

団塊の世代ボランティア講座　開催

主催　徳島労福協

3月12日(土）ヒューマンわーくぴあ徳島5階大ホールで「団塊の世代ボランティア講座」が開催されました。募集人員60名を大幅に超える、88名の方にご参加頂きました。ボランティア推進センター主事臼杵顕子さん、コーディネーター福良佐知代さんをお招きし、臼杵さんには「ボランティアはじめの一歩」というテーマで地域社会の現状とボランティアの入門についてご講話を頂きました。グループワークの時間もあり、お互いに自己紹介のあと今後のボランティア活動の抱負等の意見交換を熱心にされていました。来賓として県雇用労働課、掛尾敏史様よりご挨拶頂きました。

この事業は県委託のシニア労働者地域交流指導者育成事業であり、仕事で培った豊富な経験や技術を生かし、社会のリーダーとして、地域に貢献してもらうことをねらいとしています。

今後予定している全8講座を通して、視察や体験をして頂き、総まとめとして9月に基調講演を予定しています。

参加型ワークグループ

笑顔　～心に残る「ことば」～

「つねに謙虚であれ！」

山崎武也　（ビジネスコンサルタント）

人との関係がうまくいかないときは、まず己の姿勢を省みてみよう。
問題は自分のほうに…①敬意を失わずに②清楚さを保つ③和を大事に…人に尽くすことを辛抱強く続けていく姿勢を崩さず、人を非難せず、自分を反省する謙虚な考え方は必ずや最後には実を結ぶでしょう。（恭）

育児日記

●みさきちゃん、９ヶ月。少しおデブちゃんですが、将来は舞台女優となりNYブロードウェイで輝く予定です。

●いずみちゃん（２歳11ヶ月）は、チョコレートが大好きです。コンビニでお目当ての商品を見つけて手にすると、すぐさまばっくれます。最近の口癖は、「いりません」「いいかげんにせぇ！」「いくわよ～」です。（ふ）

ZENROSAI NEWS

社会貢献付 エコ住宅専用 火災共済

風水害等給付金付火災共済

エコ住宅専用の保障プランができました。

地球環境にやさしいエコ住宅に住みながら、住まいの保障でも環境に貢献する。そんな保障プランが社会貢献付エコ住宅専用火災共済です。これまでの火災共済と同じ保障内容で掛金は割引に。さらに毎年の決算状況に応じて掛金の一部を全労済から環境活動団体へ寄付します。全労済はこれからも、環境活動への貢献を側面から支援していきます。

●掛金（年払いのみとなります）

住宅構造	木造・モルタル等	鉄筋コンクリート
1口あたりの年掛金	68円	39円

※住宅・家財とも同じ掛金です。

●加入できる住宅
（下記のエコ設備を設置し使用している住宅）

- オール電化住宅の電気設備※（給湯・厨房・空調設備といった家庭内の熱源をすべて電気でまかなう住宅）
- 自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯器（例 エコキュート）
- 太陽光発電システム
- ガスコージェネレーションシステム（例 エコウィル）
- 潜熱回収型給湯器（例 エコジョーズ）

●最高保障額
通常の火災共済と同じ口数となります。
住宅：4,000万円（400口）
家財：2,000万円（200口）

■加入申込みに際しては、共済掛金の一部を全労済が選定する環境活動団体に寄付する旨についての同意が必要となります。

※オール電化住宅としての電気料金の割引適用等で確認することもできます。
注）上記設備に該当するのかご不明な場合は、全労済までお問い合わせください。

お問い合わせ
全労済 徳島県本部
（徳島県共済生活協同組合）
〒770-0942
徳島市昭和町3-35-1
労働福祉会館1F
☎088-625-2340
営業時間/9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日を除く）

助け合いから生まれた保障の生協です。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら 全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

社会人になって
いちばん最初にするべきことは、
メインバンクを決めることです。

新社会人になったら、ろうきん。

［総合口座］［財形貯蓄］［カードローン］
［自動車ローン］など、さまざまな金融サービスで、
あなたの社会人生活を応援します。

はたらく人の、生活応援バンク ろうきん

ろうきんイメージモデル　高垣麗子

発　行　社団法人　徳島県労働者福祉協議会
徳島市昭和町3丁目35-1（わーくぴあ徳島 内）
TEL（088）625-8387・FAX（088）625-5113
URL http://tokushima.rofuku.net/
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人　久積育郎
印　刷　者　（有）フォトプリント白石